



2012年3月期 決算概要

2012年5月11日

バンドー化学株式会社

1. 2012年3月期決算の概要

(1) 決算のポイント

- 当年度は、東日本大震災・タイにおける大洪水による当社顧客の生産稼働率の低下や電力供給の制約等の影響等、総じて厳しい状況であったが、当社顧客の挽回生産もあり、増収を確保
- しかしながら、原材料高騰、円高の影響等により減益
- 工場跡地の売却、遠隔地にある社宅の売却等により、特別損失が多額となった結果、当期純利益は大幅な減益
- インド、中国、ベトナム等、アジアを中心とする設備投資の再加速と販売ネットワークの拡充

(2) 2012年3月期業績の概要

単位：百万円

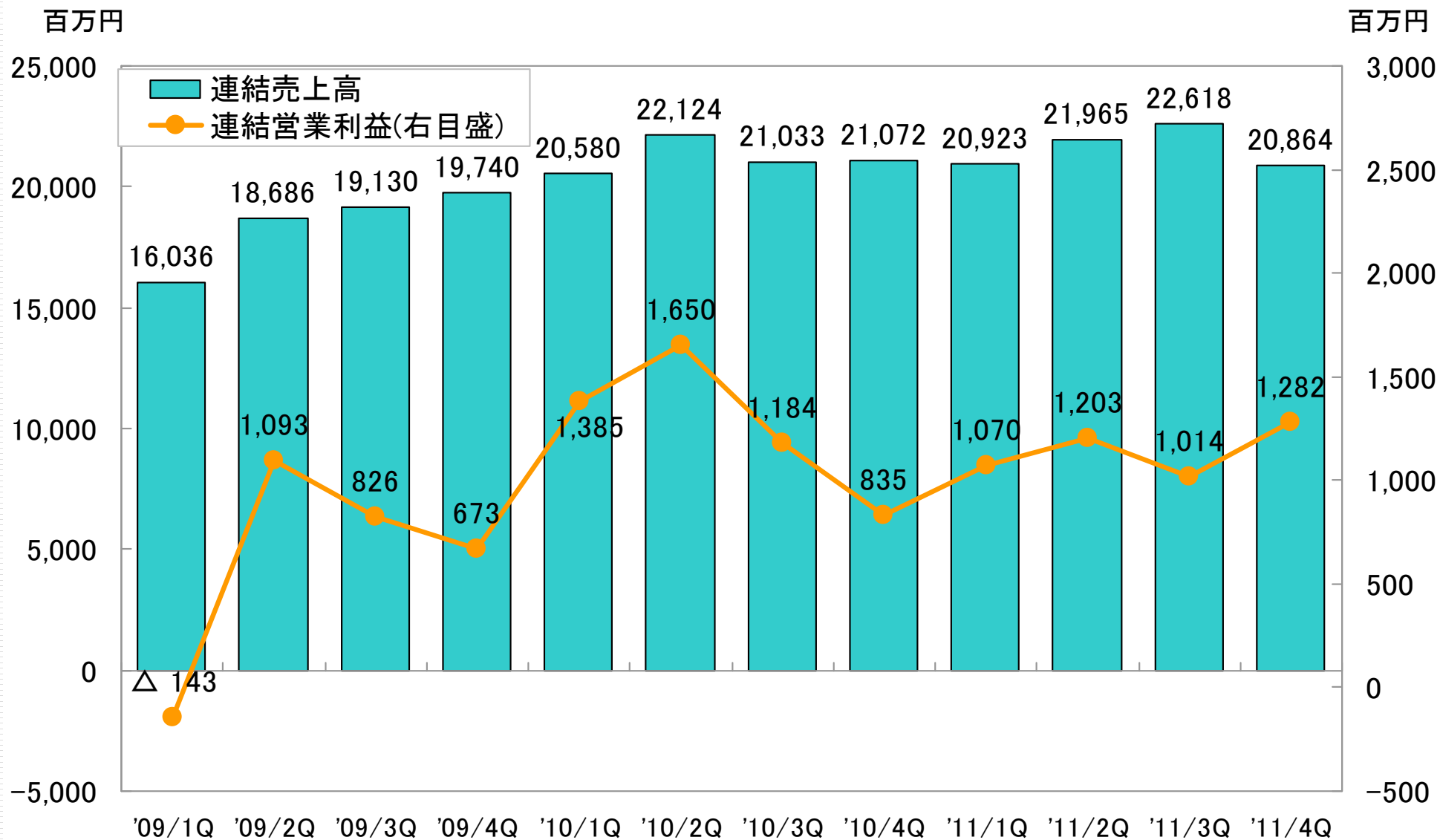
	'11/3期 実績	'12/3期 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	84,811	86,372	+1,560	+1.8%
営業利益	5,056	4,570	△485	△ 9.6%
経常利益	4,967	4,391	△575	△ 11.6%
当期純利益	3,333	1,440	△1,893	△ 56.8%
海外売上高	34,676	33,686	△989	△2.9%
(海外売上高比率)	(40.9%)	(39.0%)	(△1.9pts)	—
アジア(タイ・中国他)	27,443	26,422	△1,021	△3.7%
その他(米国・欧州他)	7,232	7,264	+31	+0.4%

為替レート(期中平均)

US\$=87.3円

US\$=79.5円

(3) 売上高・営業利益四半期推移



(4) セグメント別売上高

単位：百万円

	‘11/3月期 実績	‘12/3月期 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	84,811	86,372	+1,560	+1.8%

セグメント別売上高

伝動事業	52,483	53,591	+1,107	+2.1%
マルチメディアパーツ事業	10,636	9,020	△1,616	△15.2%
産業資材事業	15,747	17,656	+1,908	12.1%
化成品事業	4,837	4,923	+85	+1.8%
その他事業	2,113	1,796	△317	△15.0%

※各セグメントの売上高は消去前

(5) セグメント別利益

単位:百万円

	'11/3月期 実績	'12/3月期 実績	前年同期比	
			増減	増減率
伝動事業	7,448	6,845	△602	△8.1%
マルチメディアパーツ事業	1,250	379	△871	△69.7%
産業資材事業	400	1,407	+1,006	+251.3%
化成品事業	418	402	△15	△3.8%
その他事業	135	102	△32	△24.4%
セグメント別利益計	9,653	9,137	△516	△5.3%
全社費用等	△4,596	△4,566	+30	+0.7%
営業利益	5,056	4,570	△485	△9.6%

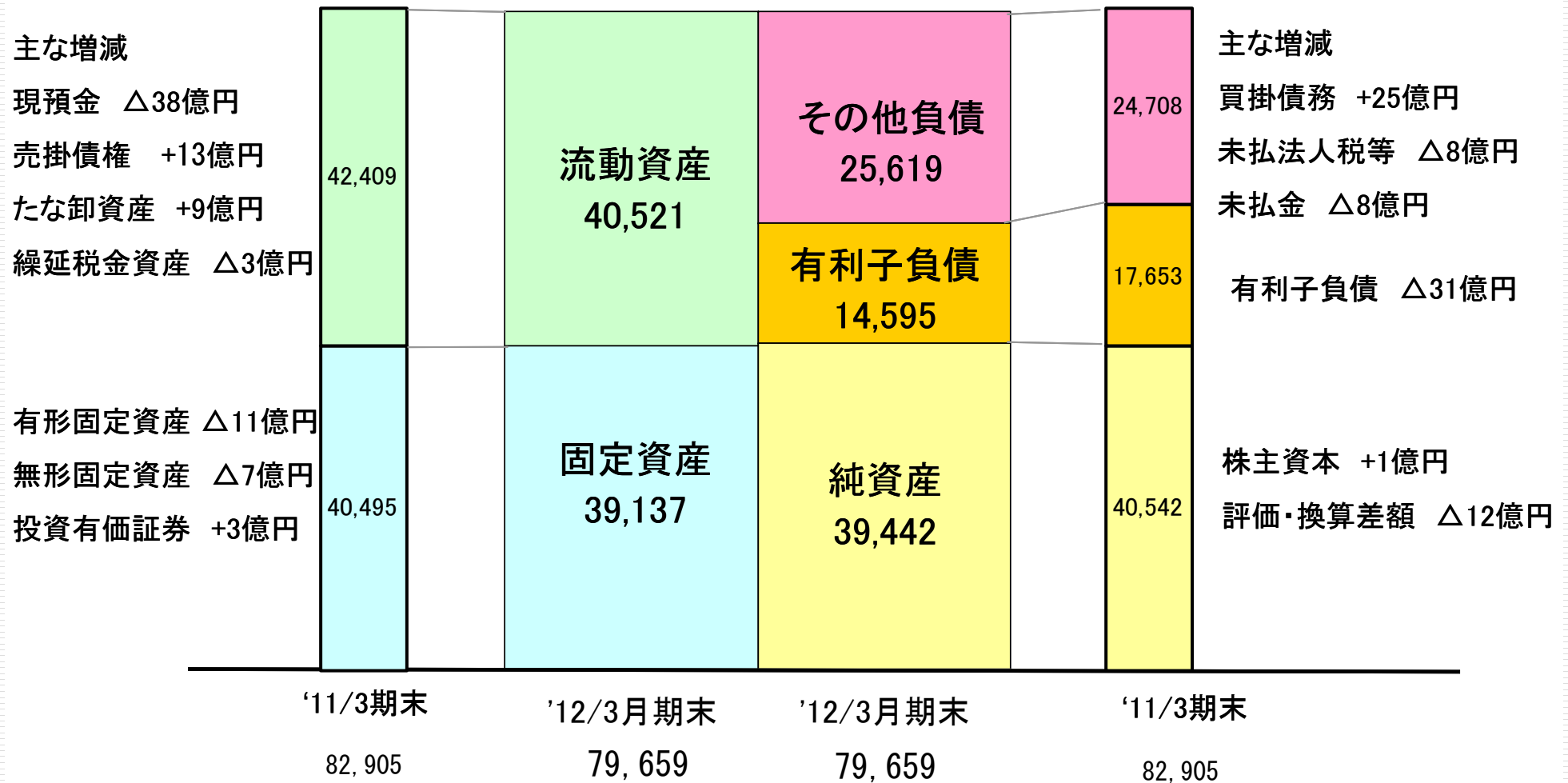
(6) 營業外損益・特別損益

単位:百万円

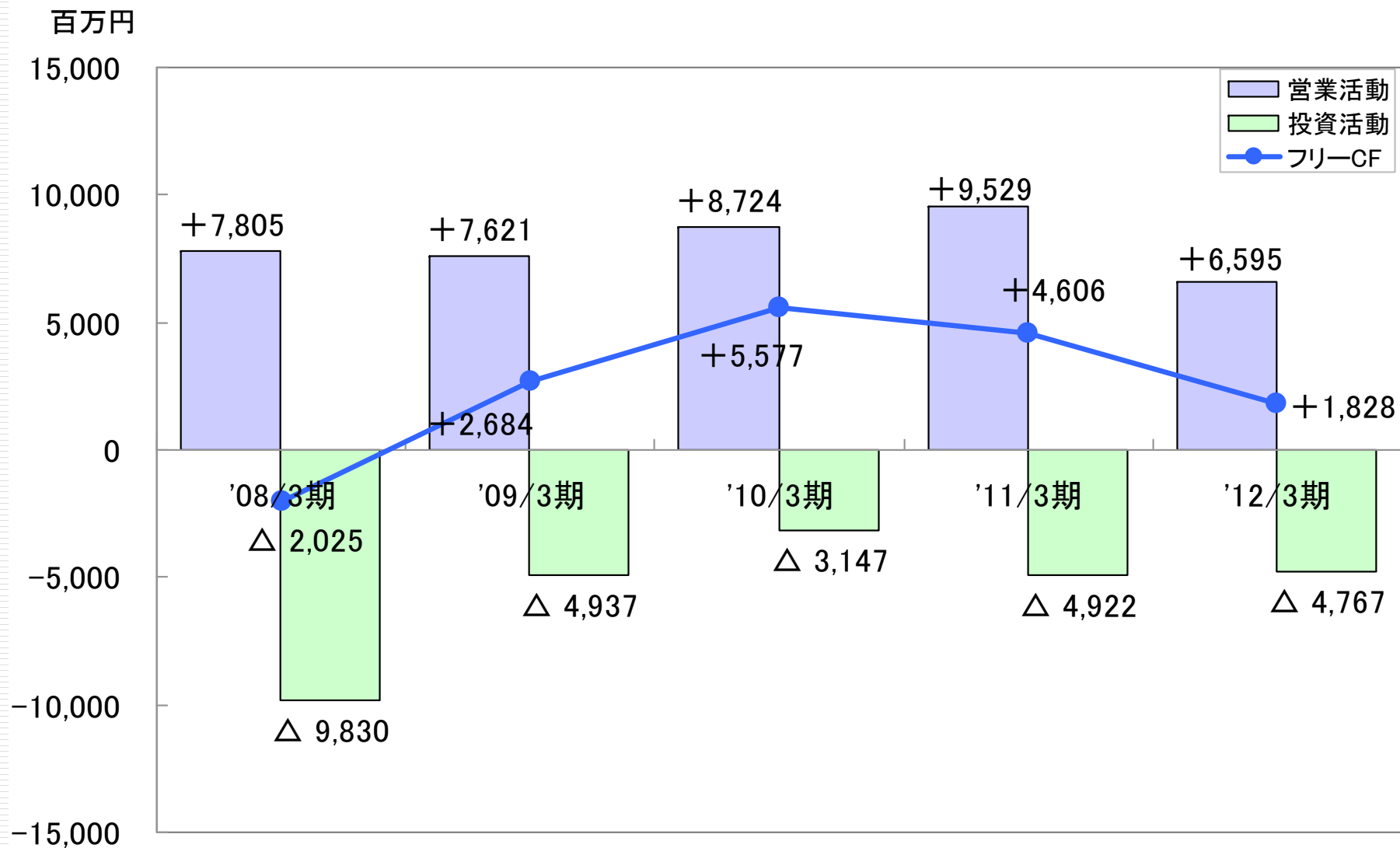
	‘11/3期 実績	‘12/3期 実績	前年同期比 増減
営業利益	5,056	4,570	△485
営業外収益	864	977	+113
営業外費用	954	1,156	+202
経常利益	4,967	4,391	△575
特別利益	267	12	△254
特別損失	324	1,635	+1,310
法人税等・少数株主損益	1,576	1,329	△247
当期純利益	3,333	1,440	△1,893

(7) 貸借対照表の状況

単位:百万円



(8)財務状況の概要(キャッシュフローの推移)



(9)指標

	‘08/3月期	‘09/3月期	‘10/3月期	‘11/3月期	‘12/3月期
ROE	12.3%	△0.6%	3.2%	8.5%	3.7%
ROA	5.8%	△0.3%	1.6%	4.0%	1.8%
自己資本比率	48.5%	48.7%	50.2%	47.9%	48.4%
D/Eレシオ	42.1%	47.3%	40.2%	44.5%	37.9%
純有利子負債	143億円	122億円	71億円	27億円	35億円

※ROE、ROAの利益は当期純利益を使用

2. 2013年3月期業績予想

(1)2013年3月期見通しについて

- 欧州金融情勢の悪化、円高の再燃、原材料価格の高止まり、国内における電力供給の制約等、引き続き多くの懸念材料を抱えた状況
 - アジア各国は安定した成長を予測
 - 昨年の大災害からの顧客の挽回生産の継続
 - 生産性の向上、経費削減の徹底、原材料調達価格の低減等、収益力の改善をすすめる
- ➡ グローバル競争力を強化し、増収増益を計画

(2)2013年3月期業績の予想

単位：百万円

	'12/3月期	'13/3月期	前年同期比	
	実績	予想	増減	増減率
売上高	86,372	87,900	+1,527	+1.8%
セグメント別内訳				
伝動事業	53,591	54,700	+1,108	+2.1%
マルチメディアパーツ事業	9,020	8,400	△620	△6.9%
産業資材事業	17,656	18,500	+843	+4.8%
化成品事業	4,923	5,300	+376	+7.7%
その他事業	1,796	1,700	△96	△5.3%
営業利益	4,570	6,200	+1,629	+35.6%
経常利益	4,391	6,100	+1,708	+38.9%
当期純利益	1,440	4,000	+2,559	+177.7%

為替レート(期中平均)

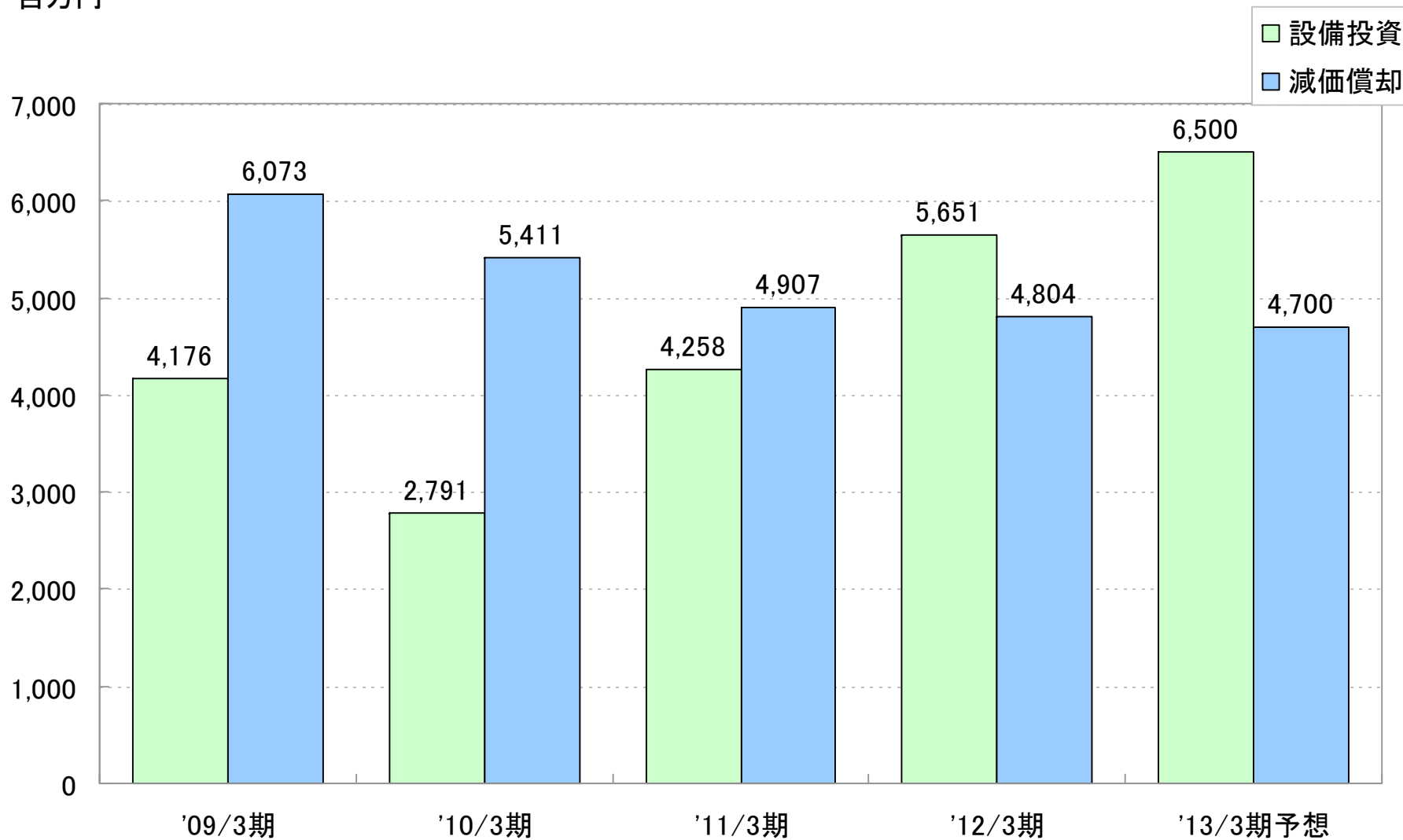
US\$= 79.5円

US\$=76円

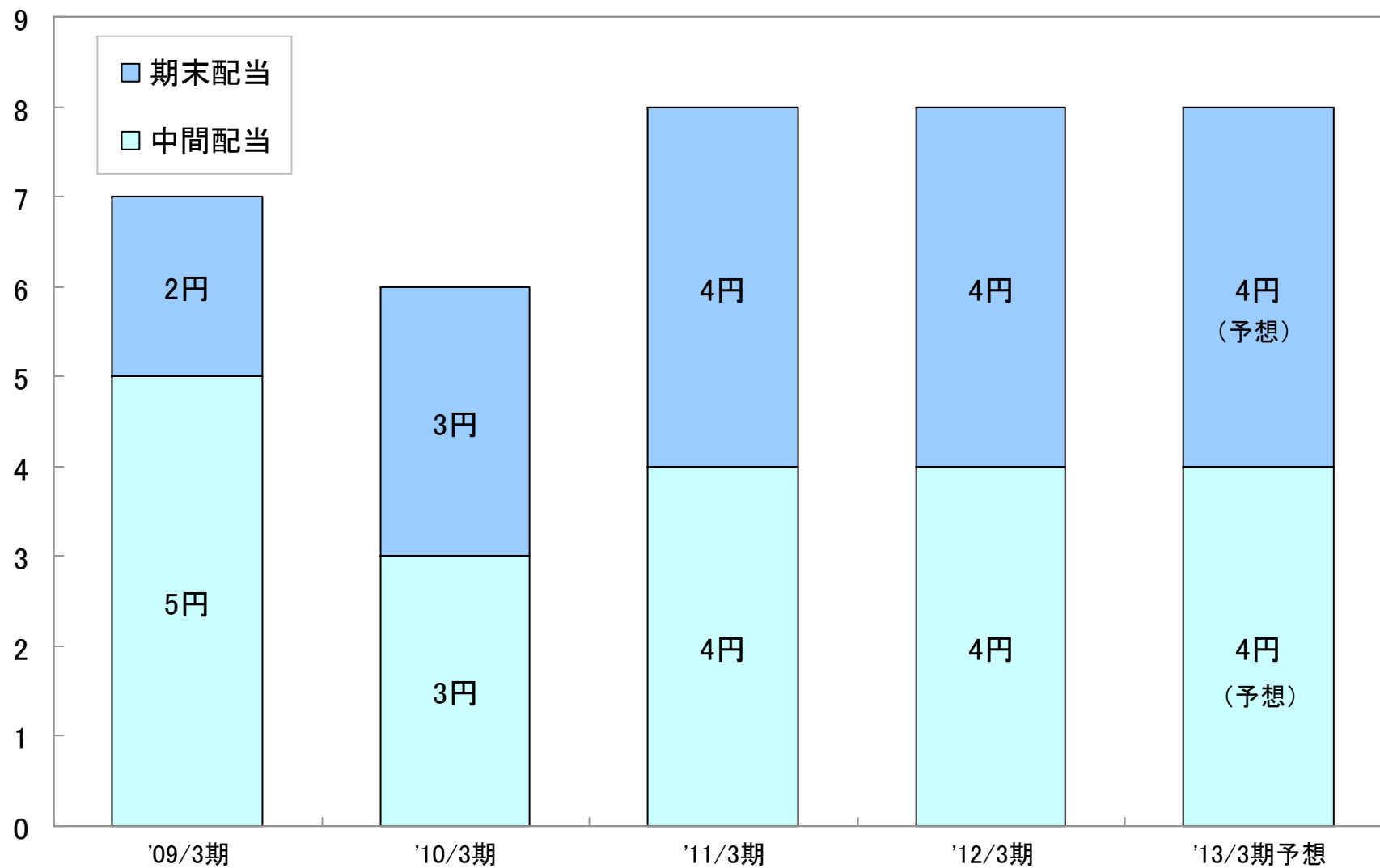
※セグメント別内訳の売上高は消去前

(3)設備投資額と減価償却費の推移

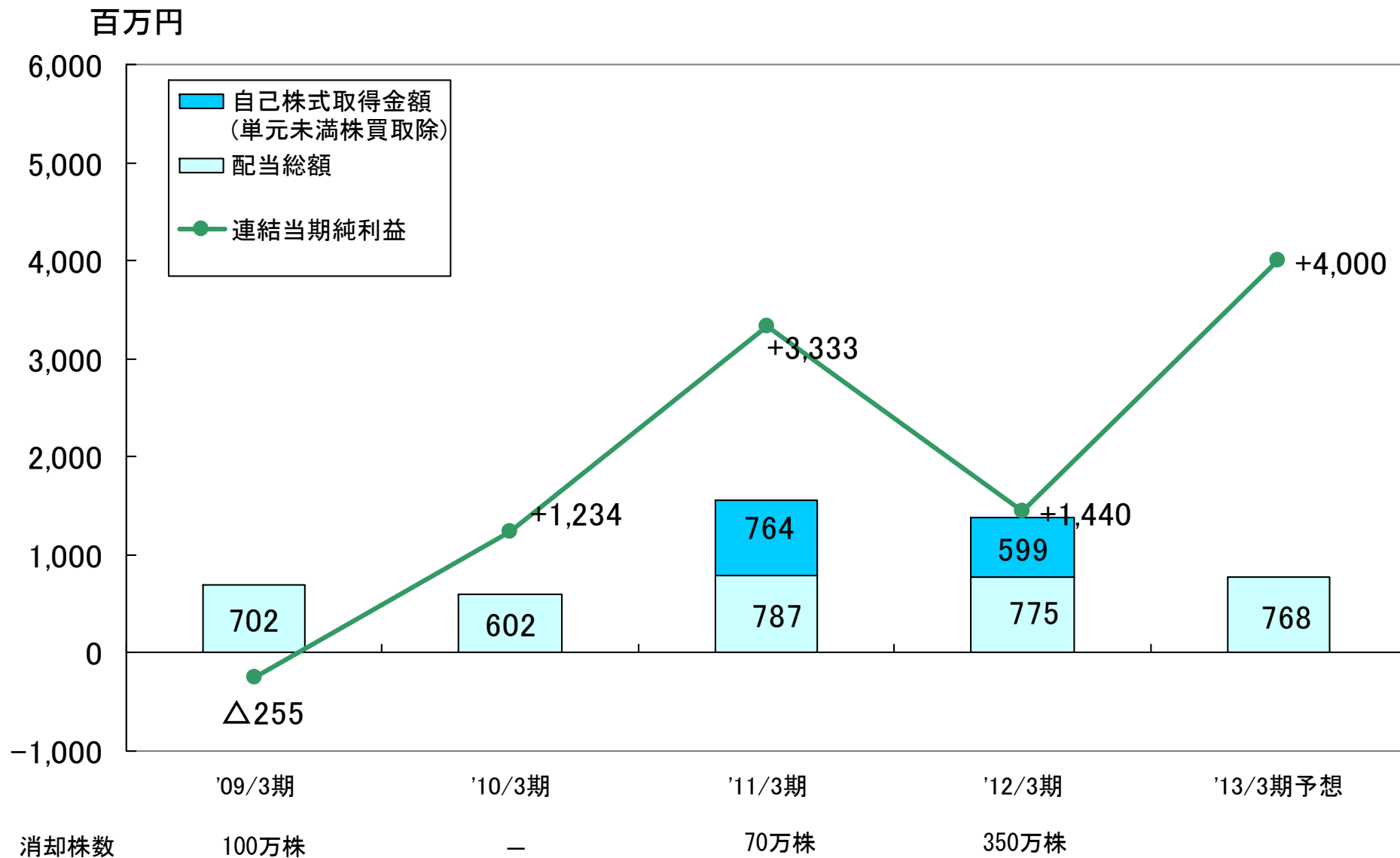
百万円



(4)株主還元(配当金)



(5)株主還元(総還元額)



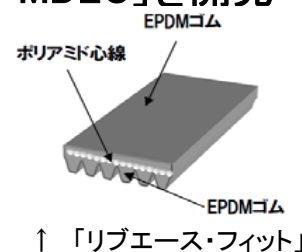
主なトピックス

- 5月 マイクロダスト除去の新方式「BANDO MDEC」を開発



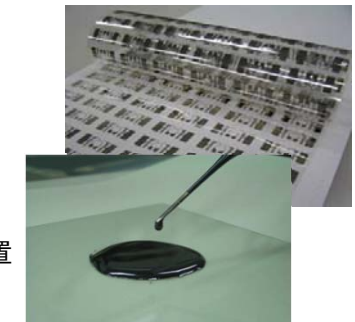
↑ 静電吸着マイクロダスト除去装置「BANDO MDEC」

- 6月 ストレッチタイプの補機駆動用ベルト「リブエース・フィット」を販売開始



↑ 「リブエース・フィット」

- 6月 NEDOプロジェクト 次世代プリントドエレクトロニクス技術組合(JAPER)に参加



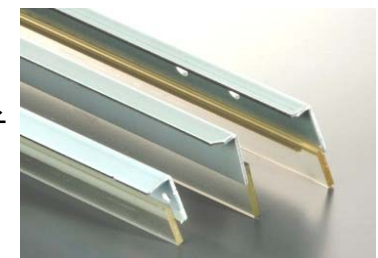
↑ プリントドエレクトロニクス金属ナノ粒子「Flow Metal」

- 10月 インドバンガロールで新工場起工式を実施



↑ インドバンガロール工場起工式の様子

- 12月 独自製法・機能別2層配合のバンコランクリーニングブレード「G-Module」を販売開始



↑ バンコランクリーニングブレード「G-Module」

- 2月 中国・上海に「中国技術センター」を開設



↑ 中国技術センター開所式の様子

- 2月 ベトナム・ハノイ近郊に「Bando Manufacturing(Vietnam) Co.,Ltd」を設立



↑ ハノイ市近郊の様子

- 3月 「バンドーテクニカルレポート No.16」を発行



← 「バンドーテクニカルレポート No.16」

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。